

< 都市住民等との交流を実施している事例 >

非農家、消費者との連携による地域活性化を目指して

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	熊本県球磨郡水上村 本野 <small>くまぐんみずかみむらもとの</small>			
協定面積 3.9ha	田(100%) 水稲	畑	草地	採草放牧地
交付金額 810万円	個人配分			25%
	共同取組活動 (75%)	役員報酬		2%
		事務局費		2%
		共同活動費時日当		8%
		水路等修繕費		1%
		水利修繕受益者負担金		13%
積立金		49%		
協定参加者	農業者32人			

2. 取組に至る経緯

本野集落は、水上村で最も農地の傾斜がきつい地域であり、維持管理には多大な労力を要していた。

また、平成7～11年度に基盤整備が行われたものの、農業者の高齢化、後継者不足により、将来的な農業生産活動の継続について不安を抱えている状況であった。

このため、地域での話し合い活動を重ねた結果、個人での農業活動には自ずと限界がくることを集落内で再確認し、本制度を契機として集落ぐるみでの活動が今後の農業を支えていくことにつながる、との意識統一が図られた。

このような認識を踏まえ、零細農家の機械への投資を抑えることを目的として農作業受託組織等に農作業を委託し、非農家との連携による協同活動等を通じて、集落内の農地等が適切に管理されるような体制を整備するため集落協定を締結することとした。

3. 取組の内容

非農業者の協力を得ながら法面の草刈をはじめ、水路改修、農道整備などの共同活動を行った。

また、集落内で生産された水稲の一部を熊本市の病院へ契約出荷するとともに、病院関係者との農作業交流活動も継続的に行っている。

さらに、消費者の安全志向に応えることを目的として、平成19年度から集落内の農業者数名が、熊本型特別栽培農産物の認証制度を活用している。

今後は、先進地研修等を行いながら、集落内の安全で美味しい水稲の作付拡大を図り、ブランド米の生産地として地域の活性化を目指していきたい。



熊本市の病院と連携した農作業体験

[集落の将来像]

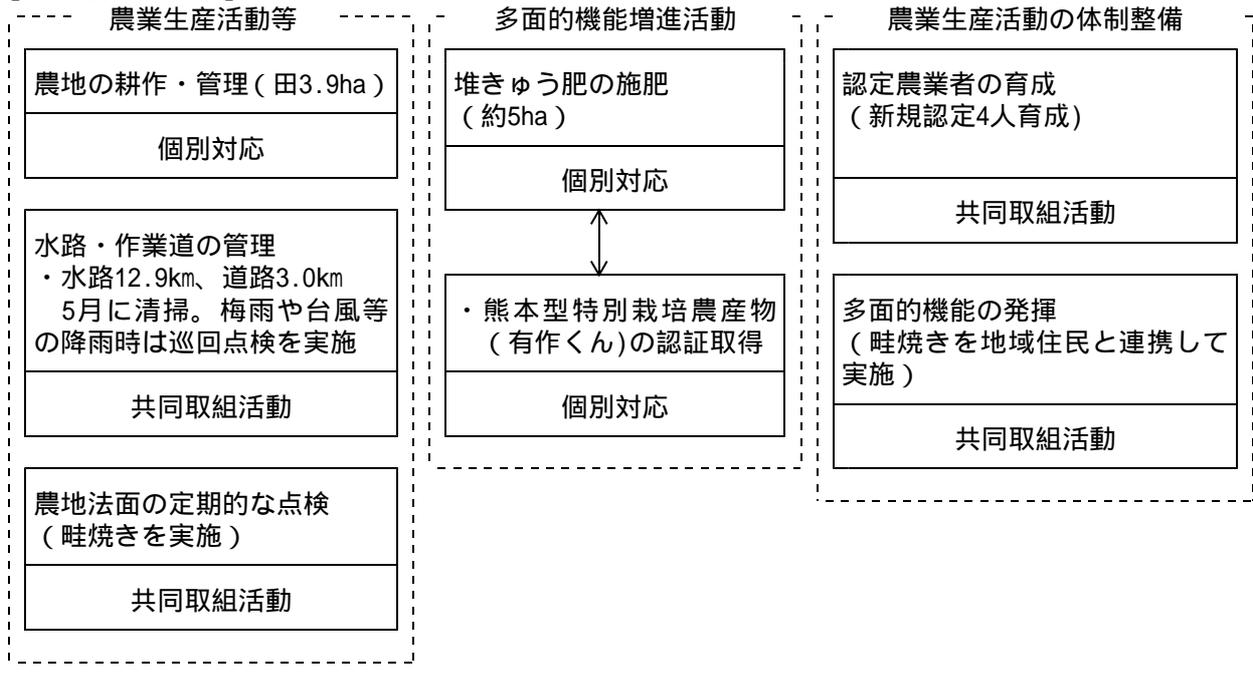
集落の農地のうち、一部は担い手等に作業委託されているが、ほとんどは自作されている状況にある。今後は、高齢化による農業者の減少により、現在耕作されている農地が耕作放棄されることなく適切に管理されるように、担い手への農地集積（貸借・売買）を推進し、農業機械への過剰投資を避ける観点からも、担い手または農業支援センター等に農作業委託を図る。



[将来像を実現するための活動目標]

農地・水路・農道の維持管理、水路改修、獣類被害防止施設の維持管理、認定農業者の育成、非農家等との連携活動、都市農村交流、担い手への農地集積など

[活 動 内 容]



集落外との連携
熊本市病院との農作業体験活動を実施

4．取組による変化と今後の課題等

本制度を通じて、受益者の負担だけでは困難だった水路や農道の補修等がスムーズにできるようになり、また補修等の際に、集落での話し合いが活発化したことで参加者の農業に対する意識の向上や参加者相互の連帯感の構築にもつながっている。

今後の課題としては、農業の基盤整備、地域の連携活動の継続、都市農村交流を基点とした有機農業の推進、ブランド米確立による所得の向上目指して充実した活動を展開していきたい。

[平成20年度までの主な成果]

- 多面的機能持続的発揮に向けた非農家・他集落等との連携
 - ・畦焼きを地域住民(非農家)と連携して実施(H20本野集落40人)
- 都市住民との交流
 - ・熊本市内の病院関係者による農作業体験（H19延べ80人）